

イベントを生かして 外国人の住みやすい町へ



竜ヶ崎第一高等学校

細見真伊
唐口碧
大庭あんり
平山聡大

1. 提言のきっかけ

私たちは学校の探求活動で「外国人が快適に暮らすには」というテーマで活動を行った。

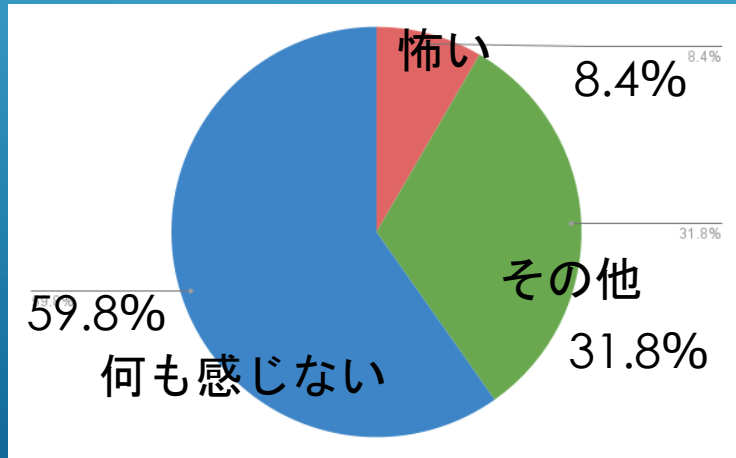
アンケートや市役所の担当の方へのインタビューなどの調査の末、市に住む外国人特有の暮らしにくさ、不便さなどを知ることができた。

そこで私たちはこの問題の解決のために市へ企画を提案するという形で解決へ近づけようと考えた。

2. データ

校内の生徒を対象にいくつかの簡単なアンケートを行った。

1. 外国人とすれ違った時、どのように感じますか？



2. 外国人に関する体験談や外国人のことをどう思っているか教えてください。(一部抜粋)

- ・ ポジティブなイメージが多い。
- ・ うちに来た時一緒にカナダ系アメリカ人とイタリア人とBBQしたけど楽しかったです。
- ・ 文化の違いがあり、少し怖い。
- ・ 外国人だからどうのっていう事はない
- ・ バスとかで大きい声で話す人が多い気がする

次に外国人に対してアンケートを行った。(一部抜粋)

● 日本人のどんな行動が嬉しいと感じましたか？

- ・ 大抵、たとえ知らない人でもどんな人にもとても明るく振舞っていること。
- ・ 日本の観光地の地元の人が親切に案内してくれるとき。

● 日本人にされて嫌な行動はありましたか？

- ・ お客さんに親切すぎる。ときどき、状況が複雑になってしまい店員さんに何か聞くのが申し訳なく感じてしまう。

● 日本人にしてほしいことはありますか？

- ・ より素直で実直な感情を示す。
- ・ 空気を読むより素直であることが大事だと思う。



3. 現状の問題点

外国人は身近な存在になりつつあるものの、
外国人と日本人の間には価値観の違い、
見えない壁の存在が依然としてある



会話や文化体験ができる場を作り、交流を促せば
先入観を乗り越え暮らしやすくなるのでは。



5. 具体案

- ① 【たつのこマルシェ】
外国人による自国の郷土料理をふるまう
屋台の出店を募集する



- ② 【コロッケフェスティバル】
外国の食材を使った
コロッケを販売する

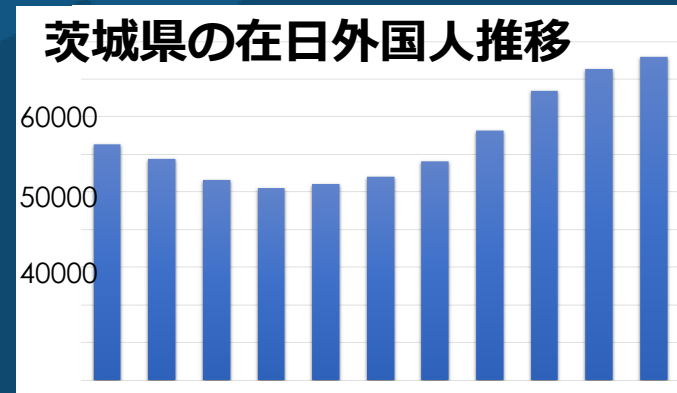


<https://m.facebook.com/Ryugasaki.MB/>
<http://www.croquette.jp/archives/2575>

またそれだけでなく、地域のイベントに新たな風を吹き込むことによって**イベントそのものの活性化、さらには市の活性化にも繋がります。**

外国人がイベントに参加することで地域の人との交流を促し、**怖い、関わりにくいなどの問題を乗り越える助けになるのではないか。**

グローバル化の波がある中、外国人の住みやすさを考えることは市の可能性を広げることにつながるかもしれない。



6. イベントを行う上での問題点と解決策

- ① 言葉がうまく伝わらず商売が成り立たない可能性がある



日本語や店員の話せる言葉の数カ国語で値段などについて書かれた看板を用意し、やりとりが最小限でも済むようにする。

②

出店で使うような機材がなく出店のハードルが高い



市で貸し出せる機材を用意したり購入する際の補助を行ってそのハードルをできるだけ緩和する。



③

何かトラブルが発生した場合の対処が
難しい



通訳ができる人を用意しておき
何かしらのトラブルが発生した際には
円滑に解決までたどりつけるよう
準備しておく。



6. 最後に

以上のように、このような企画を行うことは**市に住む外国人の過ごしやすさにつながり、さらにそれが市への利益にもなり得ると考える。**

市にさらなる魅力が必要な今、こうした企画の存在もアピールポイントとなるのではないか。

この提言が何かしら市に住む不自由を覚える外国人への助けとなれば幸いである。